

各国の学会会長および代表者各位

Rorschachiana 編集委員長

Filippo Aschieri

皆様、ご清祥のことと存じます。ここに、国際ロールシャッハ及び投映法学会の公式ジャーナルである『Rorschachiana』に関する重要なお知らせをお伝えできることを嬉しく思います。この成果は、当会の専門コミュニティで行われている研究の認知度と学術的評価の高まりを反映しています。

ご存じの方も多いかとは思いますが、Elsevier（エルゼビア）の SCOPUS リポジトリは先日、2024 年版の科学雑誌のランキングを更新しました。このランキングは、2021 年から 2024 年の期間に 5 種類の査読付きの記事（論文、レビュー論文、会議録、データ論文、書籍の章）の被引用数の合計を、同時期に Scopus にて公開あるいは索引登録された記事の総数で割ったものに基づいています。

私どもは、Rorschachiana が CiteScore 3.1 を達成したことを誇りに思います。これは、2021 年から 2024 年の間に公開された各論文が平均 3.1 回引用されたことを意味します（図 1：Rorschachiana における CiteScore の動向 (2013 -2024) を参照）。

臨床心理学分野全体における影響力という点に関して言えば、この結果は、Rorschachiana が 54 パーセンタイルに位置づけられ、この分野でもっとも引用されているジャーナルの第 2 四分位数（Q2）にランクインしたことを意味します（図 2：パーセンタイルランキングの動向 (2013 -2024) を参照）。

この結果は重要な意味を持ちます。

1. ロールシャッハ法の実践者にとって、Rorschachiana に掲載された研究が、神経心理学、心理療法、家族療法、アルツハイマー病研究といった確立された分野の研究に匹敵する割合で引用されていることは、たいへん意味深いことです（表 1：Rorschachiana の CiteScore と同程度の査読付きジャーナルを参照）。

2. 研究者にとって、Rorschachiana が権威ある Q2 ジャーナルの中で高い評価を得たことは朗報です。学術的な評価を受ける際に、同誌に掲載された論文を、より自信を持って提示できるからです。

この場をお借りして、皆様の変わらぬご支援に深く感謝申し上げます。それぞれの学会・団体に所属する著者の皆さんに対して、本誌への投稿を助成し、この成功を可能にしてくださったことに、編集委員会および ISR 理事会を代表し、心より感謝申し上げます。

敬具

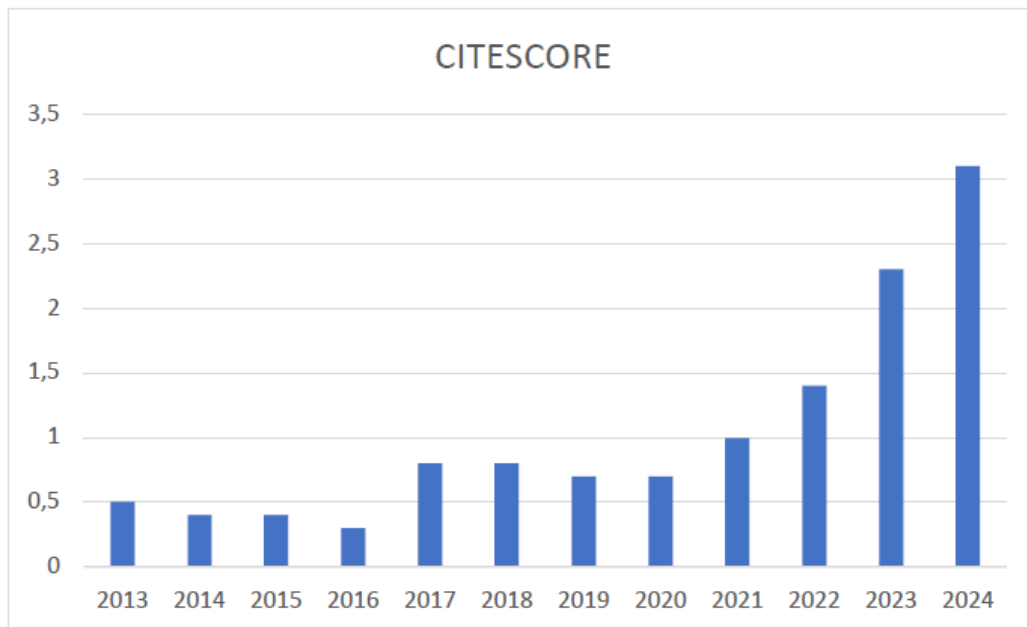


図1 Rorschachiana における CiteScore の動向 (2013 -2024)

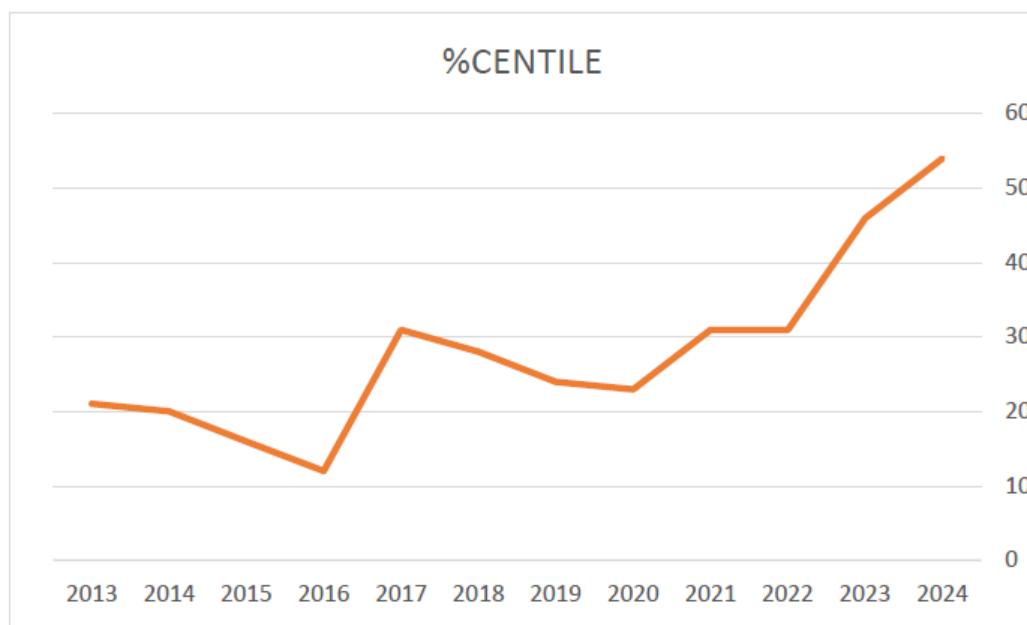


図2 パーセンタイルランキングの動向 (2013 -2024)

表 1 Rorschachiana の CiteScore と同程度の査読付きジャーナル

	#142	Journal of Family Therapy	3.1	54th percentile
☆	#143	Rorschachiana	3.1	54th percentile
	#144	Journal of Contemporary Psychotherapy	3.1	54th percentile
	#145	Alzheimer Disease and Associated Disorders	3.0	53rd percentile
	#146	European Journal of Trauma and Dissociation	3.0	53rd percentile
	#147	Journal of Clinical and Experimental Neuropsychology	3.0	53rd percentile
	#148	American Journal of Family Therapy	3.0	52nd percentile